



苦手な分野も追究することで魅力的な仕事に。

樋口 祥子

商品開発部 / パターン / 縫製仕様書作成

「デザインがしたくて」服飾美術を学んだ樋口さん。学生時代にデザイン画を元に服という形にしていく「パタンナー」という仕事に興味を持ったことがきっかけとなり、学んだことを活かしながら更に技術を高めたいとの思いから、今の仕事を選んだそうです。

現在担当している業務は、学生服と企業ユニフォームの提案サンプル用と工業用のパターン、縫製仕様書の作成。学生服と企業ユニフォームでは、生地特性が違うため、パターン作成で苦労することもあるそう。「小学校制服の重衣料アイテムでは、1校あたり10着以上、多い時には30着のアイテム試作をします。細かいデザイン・サイズの要望を聞きながらパターンを作り上げていくのは大変な作業ですが、それが形となり製品となった時の喜びや達成感はとても大きいです。」

「パターンは突き詰めるほど奥が深い」と語る樋口さん。仕事を始めた当初は、パターンの難しさに苦手意識を持ってしまったそうですが、先輩方からアドバイスを受けながら、新たな手法や考え方を経験として身に付けていくことができ、今ではパターンの魅力と面白さを感じているそうです。「好きなこと、苦手なこと」「自分の強み、弱み」を認識し、事実を素直に受け入れることで知識も増え、高い目標に向かう自信が生まれました。これから繊維業界を目指す皆さんにも苦手な分野はあると思いますが、何事にも真剣に取り組んで、自分の強みを究めてほしいです。」



もっと生の声

Q & A

- 思い出に残っていることはありますか？
見本の制服をもって来られて、これと同じものを作ってほしいという発注があった時です。要望に応えるだけでなく、更に良いものを目指して、パターン面など改良を加えて提案し、お客様に喜んでいただくことができました。
- こだわっていることはありますか？
着る人がどのような思いでこの服を着てくれるかな、どういう服だったら嬉しいかな、着やすいかなということを考えながらものづくりをしています。まずは、パッと見たときに着てみたくなるようなシルエットであるか、また着心地や動きやすさなどにも気を配り、常に「着る人」の気持ちになって作るように心掛けています。
- 会社の魅力を教えてください。
明石S.U.C.には新入社員からベテラン社員まで幅広い年齢の社員がいるのですが、女性の比率が高いこともあり、仕事と家庭が両立できるよう、女性が働きやすい環境を整えていることは魅力のひとつですね。結婚や子育てを経て、長く勤めている社員も多く、目標となる先輩が多いくことも魅力ですね(笑)。

